

平成29年度予算見積調書

課室名：観光課
 担当名：観光・物産振興担当
 内線：3955 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B88	伝統的工芸品ブランド化推進事業		一般会計	商工費	観光費	観光費	彩の国観光振興推進費	
事業期間	平成28年度～平成32年度	根拠法令			挑戦項目	11	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化	
				分野施策	040835	観光の振興		
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>本県には、ユネスコ無形文化遺産の細川紙など20産地・30品目の伝統的工芸品がある。東京2020オリンピック・パラリンピックは、海外からの観戦客や観光客を誘致する絶好のチャンスである。そこで、本県の伝統工芸品等について外国人や若者、女性などに向けた情報発信を強化する。外国人等にとって魅力ある商品のプロモーションを支援することで観光客の誘致を促進するとともに、販路拡大と県内産地の活性化を図る。</p> <p>(1) 伝統的工芸品魅力発信事業 2,000千円 (2) 外国人等に向けた新製品開発支援事業 5,660千円</p>			<p>(1) 事業内容 ア 伝統的工芸品魅力発信事業 2,000千円 伝統的工芸品の魅力をPRし産地の活性化を図るため、県内の各産地組合と連携し、伝統的工芸品の製作実演や体験教室を開催する。また、多くの人に伝統的工芸品の魅力を伝えるため、多言語対応のリーフレットを作成する。 イ 外国人等に向けた新製品開発支援事業 5,660千円 外国人等をターゲットに、斬新なデザイン等の商品開発支援を行った製品について、プロモーション活動を実施する。</p> <p>(2) 事業計画 ア 製作実演・体験教室（通年） イ プロモーションの実施（PR冊子、展示会出展）（通年）</p> <p>(3) 事業効果 本県の伝統的工芸品やその産地が外国人にも注目されるようになり、海外からの観光客が増加する。また、新たな顧客層を獲得し販路が拡大することで、県内産地が活性化する。 ア 観光消費額 (7) 県外からの宿泊客 平成27年：6,891円 → 平成29年：20,700円 (4) 県外からの日帰り客 平成27年：4,045円 → 平成29年：5,000円</p> <p>(4) 県民・民間活力・職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 (一財) 伝統的工芸品産業振興協会、(一財) 埼玉伝統工芸協会、県内産地組合、製造業者、商工会議所・商工会等と連携し事業を実施</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円								
			財 源 内 訳					
予算額							一般財源	前年との 対比
決定額	7,666						7,666	△13,164
前年額	20,830						20,830	